

2. 教育普及事業

(1) 郷土史研究会

月に1回、当館学芸員または市内外の郷土史家や歴史研究者を講師とし、岩国に関する地方史の研究会を実施。昭和43年(1968)から始まり、現在に至る。聴講は無料・要事前申込。

令和4年度郷土史研究会

開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第662回	4月16日	岩国いけばなの起源 講師：藏重 伸 氏（池坊岩国支部長）	41
第663回	5月21日	写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～（その3） 講師：金谷 匡人 氏（元山口県文書館副館長）	35
第664回	6月18日	幕末岩国における武士の危機認識 －森脇主税の弘化2・3年意見書－ 講師：濱保 仁志（岩国徴古館学芸員）	35
第665回	7月16日	戦国時代の玖珂盆地 講師：中司 健一 氏（益田市歴史文化研究センター主任）	48
第666回	8月20日	玖珂 鞍掛合戦について －諸文書からの考察－ 講師：杉 修介 氏（郷土史家）	50
第667回	9月17日	石見国物不言城主吉川氏の歴史 講師：倉恒 康一 氏（島根県文化財課世界遺産室専門研究員）	37
第668回	10月15日	旧岩国藩士による国立銀行の創設と経営展開 ～第百三国立銀行を例として～ 講師：畠中 茂朗 氏（早稲高等学校教諭）	29
第669回	11月19日	石人形の歴史と錦帯橋との関わり 講師：横田 太陽 氏（岩国石人形資料館）	30
第670回	12月17日	錦帯橋創建350年 一時をかける・美をうつす－ 講師：松岡 智訓（岩国徴古館学芸員）	44
第671回	1月21日	「西郷家文書」にみえる弘中家の女性について 講師：田村 杏士郎 氏（山口市歴史民俗資料館学芸員）	29
第672回	2月18日	吉川家と石見小笠原家 講師：小笠原 美里 氏（吉川史料館学芸員）	39
第673回	3月17日	「岩邑怪談録」を読む 講師：枝元 咲（岩国徴古館学芸員）	37
合計(人)			454

(2) 古文書講座

月に1回、当館学芸員を講師とし、当館所蔵の古文書をテキストに読み方や読解力を身に付ける講座を開催。はじめて古文書を学ぶ方を対象とした「基礎講座」と基礎事項を復習しながら古文書を実践的に読み進める「初級講座」に分かれ、受講者のレベルに合わせた講座進行で実施。テキスト代（半期）500円・要事前申込。

令和5年度の古文書講座

	開催月												合計 (人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎講座	37	33	30	33	28	31	31	30	31	34	32	30	380
初級講座	18	15	15	15	17	13	17	13	17	16	18	18	192
合計	55	48	45	48	45	44	48	43	48	50	50	48	572

(3) 博学連携

学校と博物館が相互理解・協力し、未来を担う子供たちに郷土の歴史等に関心を持ってもらうために、出前講座や体験教室、館内利用などを積極的に実施するもの。博物館においては施設や資料の周知、積極的な活用にもつながる。

① 学校行事（社会見学・職場体験など）

小学校	2件	81人
中学校	1件	17人
高等学校・大学	3件	3人

② 出前授業

小・中学校	20件	3990人
高等学校	6件	224人
専門学校・短期大学	5件	93人

(内容)

・ 岩国市の成り立ちと歴史	・ 干拓の経緯とその事業のあらまし
・ 錦帯橋と城下町	・ 東地区の今と昔
・ 地域とくらし	・ 郷土の偉人（藤岡市助）
・ ミニ掛軸体験	・ 和綴じ本製作
・ 高森の歴史	・ 鋳造体験
・ ミクロ生物古文書製作	・ 江戸時代の古地図を読む
	ほか

③ 学校教諭・教員の研修

小学校・高等学校	4件
----------	----

④ 博物館実習生の受け入れ 4人

期間：令和5年8月23日（水）～9月1日（金）※土・日・月曜日を除く全7日間

実習展示場所：中2階展示室

テーマ：「収蔵庫で釣ってみた！」

- ⑤ インターンシップ学生の受け入れ
大学 2人 高校 1人

⑥ 岩国徴古館主催体験行事（企画展連動講座を含む）

- ・ 和綴じ体験 1回 12人
- ・ 甲冑体験 6回 6人
- ・ 鋳造体験 2回 24人
- ・ 掛軸体験 1回 10人
- ・ こども古文書講座 2回 2人
- ・ 創建350年記念！錦帯橋クイズラリー 10月1日（日） 54人
- ・ 錦帯橋芸術祭 11月11日（土） 33人
11月12日（日） 39人
- ・ 錦帯橋の版画・浮世絵スタンプ体験（錦帯橋芸術祭2023） 11月12日（日） 23人

（4）その他

① 毛利氏関連博物館等施設連携事業

- ・ 毛利氏関連博物館等施設連携事業ガイドマップ印刷・製本業務
内容：毛利元就郡山城入城 500 周年を記念して内容を更新・ガイドマップの印刷・製本を行った。
- ・ 家紋ラリーの実施
期間：令和 5 年 11 月 1 日（水）～ 令和 6 年 2 月 29 日（木）
内容：毛利氏関連博物館等施設の回遊性を高めるため、武将印を集めるスタンプラリーを実施した。
- ・ 毛利元就フェスへの参加
期間：令和 5 年 5 月 16 日（土）～ 令和 5 年 5 月 17 日（日）
内容：毛利元就郡山城入城 500 周年を記念したイベントに連携市町でブースを設置し、来場者が記念撮影できる AR フォトフレームを作成した。「毛利元就ゆかりの地 M7 サミット」に登壇し、「吉川広家と毛利元就-岩国市内にある元就ゆかりの史跡-」を紹介した。

② 岩国徴古館・シティプロモーション課共催行事

- ・ 「岩国 YOKA I キャッチラリー」
期間：令和 5 年 7 月 22 日（土）～ 8 月 27 日（日）
内容：スマートフォンによるデジタル技術を活用したスタンプラリーを実施。当館資料の「岩邑怪談録」に掲載されている怪談から 10 話を選び、キャラクター化したもの（QR コード）を錦帯橋周辺の観光スポットに設置。集めたスタンプ数により景品をプレゼントした。
実績：5 体獲得景品「YOKA I カード」配布数 323 部
10 体獲得景品「特製コレクションブック」配布数 231 部

③ 学芸員派遣講座等 11 件

- ・ 大竹市歴史研究会
- ・ 岩国中央ロータリークラブ
- ・ 山口県社会教育研究大会
- ・ 岩国吉川会
- ・ 岩国西ロータリークラブ
- ・ 岩国城下町寺子屋

3. 調査研究事業

(1) 調査研究報告

「岩国徴古館調査報告書（第4号）」刊行

研究ノート

- ・岩国徴古館所蔵「大屋家文書」における軍学関係資料について 学芸員 濱保仁志

令和5年度寄贈資料である、岩国吉川家の家臣・大屋家に伝来した資料群「大屋家文書」について概要の紹介と、その資料群中に含まれる軍学関係資料について若干の考察を行う。

資料紹介

- ・岩国徴古館所蔵「今田家文書」吉川元春書状について 学芸員 枝元咲

令和5年度寄贈資料の岩国吉川家・家老五家のひとつ今田家に関する資料群「今田家文書」のうち、吉川家一五代当主・吉川元春から今田家に出された書状類をまとめた資料二点を速報の意も含めて取り上げる。

- ・岩国徴古館所蔵の朝鮮通信使関係資料について 学芸員 松岡智訓

岩国徴古館が所蔵する朝鮮通信使関係資料について、今後の朝鮮通信使研究に資するために解題を作成するとともに、紙幅の範囲内で翻刻を抄録する。

(2) 研修会・講演会

- ・令和4年度 博物館・美術館等保存 担当学芸員研修 基礎コース（5月1日～8日） 受講

主催：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

- ・令和5年度 日本博物館協会令和5年度研究協議会

「新収蔵庫棟と資料のデジタル化を通じた標本の整備と活用」（2月23日） 参加

主催：公益財団法人日本博物館協会

共催：兵庫県立人と自然の博物館/NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク